

飛鳥資料館 春期特別展 「比羅夫が行く－飛鳥時代の武器・武具・いくさ－」

飛鳥に政権が置かれた7世紀は、中国的な中央集権国家を打ち立てる動乱の時代でした。百済をめぐる唐・新羅との戦、蝦夷や肅慎ら北方集団との戦い、さらに古代史上最大の内乱である壬申の乱など、さまざまな「いくさ」がおこなわれました。また、律令制の導入にともなう、身分を表すファッションとして武器を身につけるようになりました。この結果、7世紀には、日本の武器や武具の大きな画期が生まれたとされます。

そうした時代、朝鮮半島や北方での戦に一人の将軍が関わったことが『日本書紀』に記載されています。阿倍比羅夫です。彼がみたであろう、北方地域や大陸との比較、唐の時代のファッションを通じて、飛鳥時代の武器と武具、そして「いくさ」を春の飛鳥資料館でご覧いただきたいと思います。

(飛鳥資料館 成田 聖)

会 期：2012年4月14日(土)～6月3日(日) 会期無休

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで) お問合せ：☎ 0744-54-3561(飛鳥資料館)

ギャラリートーク：4/15(日) 13:00～ 5/12(土) 11:00～ 5/19(日) 13:00～

記念講演会：5月12日(土) 13:30～ 「飛鳥の武器生産と東北」講師：豊島 直博 氏(文化庁)



平城宮跡資料館 春期企画展 「発掘速報展 平城2011／文化財レスキュー展」

毎年恒例の「発掘速報展」では、本年度調査した3つの遺跡(平城宮東院地区、興福寺北円堂院、平城京左京三条一坊一・二坪)を解説します。会場に足を踏み入ると、床には発掘現場の1/10の大きな遺構平面図が！発掘調査員になったつもりで、図面の上を歩きまわってみてください。

同時開催の「文化財レスキュー展」では、東日本大震災で被災した文化財の救援事業について展示します。現地での救援活動や現在も続く保存処理など、救援にあたった奈文研職員の声を交えながらご紹介します。

(企画調整部 渡邊 淳子)

会 期：2012年3月10日(土)～5月27日(日)

休 館 日：月曜日(月曜が祝日のときは火曜休館)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

お問合せ：☎ 0742-30-6753(連携推進課)

ギャラリートーク：会期中毎週金曜日 14:30～ ※5/4は除く

研究員が会場で発掘調査や文化財レスキューの解説をします。



■ お知らせ

藤原宮跡資料室 土日祝日開室記念展示

2012年4月7日(土)～5月6日(日)

「理もれた大宮びとの横顔」

－藤原宮東面北門周辺出土の木簡－

■ 記 録

現地説明会

○飛鳥藤原第171次発掘調査(甘檜丘東麓遺跡)

2012年3月4日 1,005名

○平城第488次発掘調査(平城京左京三条一坊一坪)

2012年3月10日 850名

飛鳥資料館 冬期企画展

2012年1月20日～2月26日

「飛鳥の考古学2011」 2,016名

文化財担当者研修

○遺跡等環境整備課程

2012年1月10日～20日 13名

○保存科学Ⅲ(応急処置)課程

2012年2月6日～10日 20名

○地質環境調査課程

2012年2月14日～22日 9名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2012年3月